

JA ユーザーマニュアル

# prismaTSlab

**Löwenstein Medical Technology**  
**治療装置のディスプレイおよびリ**  
**モート設定用の PC ソフトウェア**  
バージョン 5.17

**LÖWENSTEIN**  
medical

# 目次

<b>1</b>	<b>はじめに</b>	<b>3</b>
<b>2</b>	<b>説明と準備</b>	<b>4</b>
2.1	患者居室への固定割当ての設定 (オプション) .....	4
2.2	ユーザーインターフェース .....	8
<b>3</b>	<b>使用方法</b>	<b>12</b>
3.1	prismaTSlabの起動 .....	12
3.2	治療装置を手動で選択 .....	14
3.3	患者の選択 .....	16
3.4	治療設定の構成 .....	19
3.5	治療の開始と終了 .....	27
3.6	呼吸気加湿器のスイッチを切り替える .....	28
3.7	装置内の治療データ削除 .....	29
3.8	PSGテストを実施する .....	30
3.9	レポートの作成 .....	30
<b>4</b>	<b>付録</b>	<b>32</b>
4.1	テクニカルデータ .....	32
4.2	ラベルと記号 .....	32
4.3	適合宣言書 .....	32

# 1 はじめに

このユーザーマニュアル/オンラインヘルプには、prismaTSlabの操作に関する情報が含まれています。

以下の情報は別個のインストール方法で見つかります：

- 用途と機能
- 安全に関する情報
- システム要件
- ネットワーク設定
- インストールと更新
- 機能点検
- トラブルシューティング
- リモートメンテナンス
- テクニカルデータ



本ドキュメント内のスクリーンショットのソフトウェアバージョンが、インストールされているソフトウェアバージョンと異なる場合があります。

## 2 説明と準備

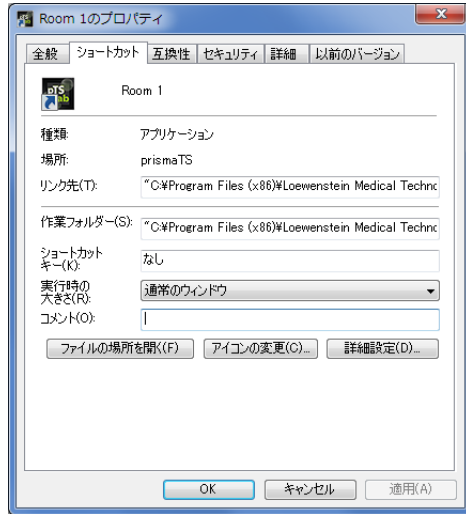
### 2.1 患者居室への固定割当ての設定 (オプション)

必要に応じて、患者居室とprismaTSlabアプリケーションの間に固定割当て (**1:1接続**) を設定することができます。例えば、各室内に (すなわち、各治療装置につき) PCが1台ある場合、アプリケーションを起動したときにそれぞれの患者居室にある治療装置が自動的に選択されるように、prismaTSlabを設定することができます。これにより、それぞれの装置を手作業で選択する必要がなくなり、混乱するリスクを減らすことができます。

#### 2.1.1 WM100TD 治療装置の 1:1 接続の設定

ネットワーク (prismaCONNECTまたはprisma HUB) に接続されているモジュールを使用して患者居室への固定接続をセットアップできます。固定接続は、この通信モジュールに対するものであり、どの治療装置がそのモジュールに接続されているかには関わりません。

1. デスクトップ上のprismaTSlabショートカットを右クリックします。
2. コンテキストメニューで**プロパティ**を選択します。



3. ショートカットタブを選択します。
4. リンク先フィールドにターゲットパスがあります (例えば "C:\Program Files (x86)\Loewenstein Medical Technology\prismaTS\prismaTSlab.exe")。
5. ターゲットパスの後に、使用されているモジュールのシリアル番号を入力します。シリアル番号は、モジュールの型番プレートに記載されています。患者居室の名前を入力することもできます。名前の入力はおプションです。
  - 下記のフォーマットを使用してください：
 

```
[空白スペース] lansn=[モジュールのシリアル番号]
[空白スペース] title="[患者居室に使用したい名前]"
```

 "title" の入力はおプションです。



正しいシンタックスに注意してください：引数の前と後にはスペースがあります。=の前と後にはスペースはありません。

例：

```
maTS#prismaTSlab.exe" lansn=04219 title="Room 1"
```

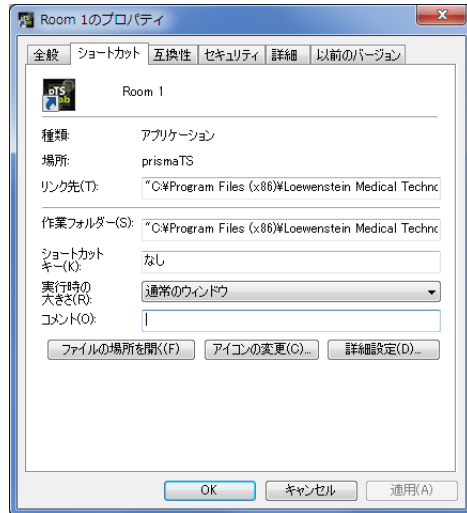
6. 入力内容を保存するには、**適用**をクリックします。  
または  
入力内容を保存してウィンドウを閉じるには、**OK**をクリックします。  
または  
入力内容を保存しないでウィンドウを閉じるには、キャンセルをクリックします。
7. デスクトップ上に設定されたショートカットを使って、prismaTSlabアプリケーションを起動します。
8. モジュールに接続された治療装置が自動的に選択されているか、チェックしてください。
9. 患者居室に固定接続されている治療装置を追加するには、prismaTSlabショートカットをコピーし、そのモジュールに対応するシリアル番号と、必要に応じて患者の居室名を入力します。



装置を手動で選択することはできなくなります(「[治療装置を手動で選択](#)」を参照)。メニュー項目の**メニュー** > **装置の選択**は、使用できなくなります。

## 2.1.2 SOMNO 治療装置の 1:1 接続の設定

1. デスクトップ上のprismaTSlabショートカットを右クリックします。
2. コンテキストメニューで**プロパティ**を選択します。



### 3. ショートカットタブを選択します。

リンク先フィールドにターゲットパスがあります (例えば "C:\Program Files (x86)\Loewenstein Medical Technology\prismaTS\prismaTSlab.exe")。



prisma装置とSOMNO装置の両方が同じ部屋で接続されている場合、prisma装置 (lansn) が最初に検索されます。何も見つからなかった場合、SOMNO装置 (comport) が検索されます。

4. WM100TDも存在する場合：ターゲットパスの後に、prismaCONNECTモジュールのシリアル番号を入力するか、または使用されている場合はprisma HUBモジュールのシリアル番号を入力します。シリアル番号は、モジュールの型番プレートに記載されています。
5. COMポートの番号を入力します。COMポートの番号は、Windows<sup>®</sup>のデバイスマネージャーに記載されています：
  - Windows<sup>®</sup>のデバイスマネージャーを開きます (例えば Windows<sup>®</sup> 7では：スタート > コントロールパネル > ハードウェアとサウンド > デバイスマネージャー)。

- ポート (COMとLPT) セクションを開きます。
  - USB-RS485コンバーターケーブルが接続されている場合は、そのCOMポート番号が表示されています。
6. オプションとして、患者居室の名前を入力することもできます。
- 下記のフォーマットを使用してください。正しいシンタックスに注意してください：引数の前と後にはスペースがあります。=の前と後にはスペースはありません。

[スペース] lansn=[prismaCONNECTのシリアル番号]  
 [スペース] comport="COM[COMポートの番号]"  
 [スペース] title="[患者居室に対して入力したい名前]"

例：

```
prismaTS\prismaTSlab.exe" comport=COM3
```

7. 入力内容を保存するには、**適用**をクリックします。

または

入力内容を保存してウィンドウを閉じるには、**OK**をクリックします。

または

入力内容を保存しないでウィンドウを閉じるには、キャンセルをクリックします。

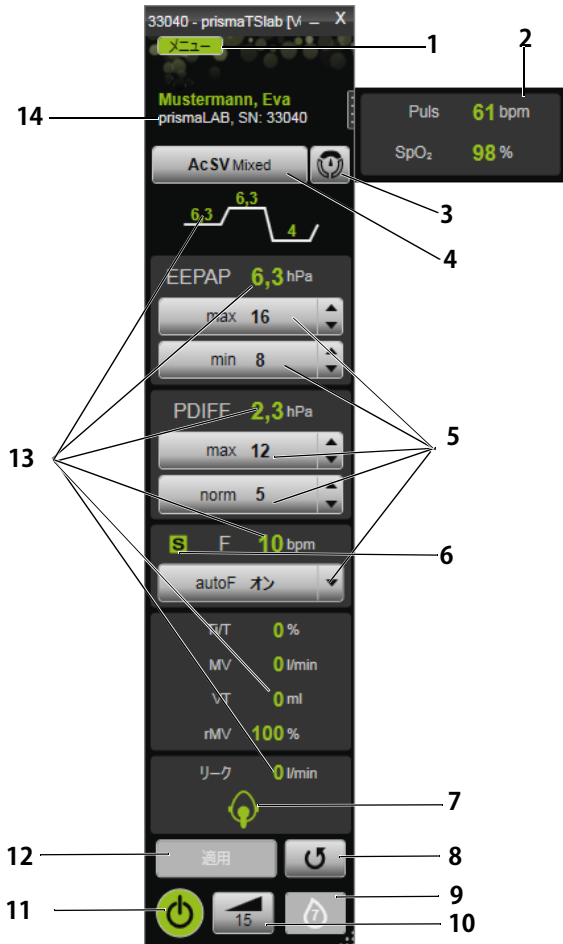
8. デスクトップ上に設定されたショートカットを使って、prismaTSlabアプリケーションを起動します。
9. 接続されている治療装置が自動的に選択されているかチェックしてください。

## 2.2 ユーザーインターフェース



ユーザーインターフェースは、選択されている治療装置や換気モードによって外見が多少異なることがありますのでご注意ください。





2-1 メインウィンドウのユーザーインターフェース (AcSV Mixed モード)

番号	名称	説明
1	メニューボタン	メニュー内容を表示します。
2	SpO <sub>2</sub> ウィンドウ	SpO <sub>2</sub> モジュールが接続されている場合は、SpO <sub>2</sub> と脈拍数が表示されたウィンドウが自動的に開きます。必要に応じてウィンドウをクリックすることで、閉じたり再び開いたりすることができます。
3	SCOPEボタン (治療目標) (WM100TDのみ)	プリセット治療目標を表示します。

番号	名称	説明
4	換気モードリスト	ここで換気モードを選択することができます。接続されている治療装置により提供される換気モードのうち1つだけを選択できることに注意してください。
5	パラメータ	ここで、最も重要なパラメータを設定できます。
6	呼吸ステータス	呼吸ステータスを表示します。
7	マスクステータス記号	呼吸マスクの配置状態と、リークがある場合はそれを表示します。
8	更新/リセットボタン	装置から現在の装置設定をロードすることによって、変更後まだ適用されていない換気モード、SCOPE、治療設定を、リセットします。
9	呼吸気加湿器ボタン	呼吸気加湿器が接続されているかどうか、オンになっているかどうか、および呼吸気加湿器設定レベルを表示します。 WM100TDのみ：ここで、呼吸気加湿器のスイッチを切り替えることができます。
10	softSTARTボタン	このボタンにより、治療中にsoftSTARTのオンとオフを切り替えることができます。 オンになっている場合は、softSTARTの残り時間が分単位で表示されます。 softSTARTに関する詳細は、治療装置の取扱説明書に記載されています。
10	治療分析ボタン	治療分析の印刷を可能にします。 治療分析はすべてのモードとそれぞれの最後の夜間治療が表示されます。表形式は、最後の夜間治療中の、それぞれの圧力/圧力範囲別の、関連する呼吸パラメータと呼吸イベント、意図しないリークの詳細を表示します。 治療が始まると、 <b>治療分析</b> ボタンが <b>softSTART</b> ボタンに変わります。治療が終わると、ボタンが元に戻ります。
11	オン/オフボタン	このボタンは、治療の開始と終了に使用します。
9	治療プロトコルボタン	治療プロトコルの印刷を可能にします(「 <a href="#">治療プロトコルの印刷</a> 」を参照)。 治療が始まると、 <b>治療プロトコル</b> ボタンが <b>呼吸気加湿器</b> ボタンに変わります。治療が終わると、ボタンが元に戻ります。
12	適用ボタン	このボタンは、prismaTSlabで設定したパラメータを治療装置に移行させるのに使用します。

番号	名称	説明
13	現在値	現在の値を表示します (装置バージョンによって値やモードが異なることがあります)。治療装置の現在の値は毎秒約1回、prismaTSlabに送信されます。表示されている治療圧力 (モードP、IPAP、EPAP、EEPAP、PDIFFに応じて) は、セットポイント圧力です。 表示されている頻度 (F) は、数回の呼吸で平均した患者の呼吸数です。
14	情報バー	選択されている治療デバイスと、該当する場合には割り当てられている患者が、表示されます。
4	ボタン1/2/3 (WM110TD/WM120TDのみ)	ここで、換気プログラムを変更できます。



治療が始まると、**治療分析**ボタンと**治療プロトコル**ボタンが、**softSTART**ボタンと**呼吸気加湿器**ボタンに変わります。治療が終わると、ボタンが元に戻ります。


## 2.2.1 ユーザーインターフェースの記号

記号	名称	説明
		S=自発
	呼吸ステータス記号	T=timed (タイミング誘導 (補助呼吸))
		/=呼吸なし
	マスクステータス記号	マスク位置が良好。リークがない
		マスク位置が不良で、かなりのリークがあり、治療効果が保証されない

## 3 使用方法

### 3.1 prismaTSlab の起動

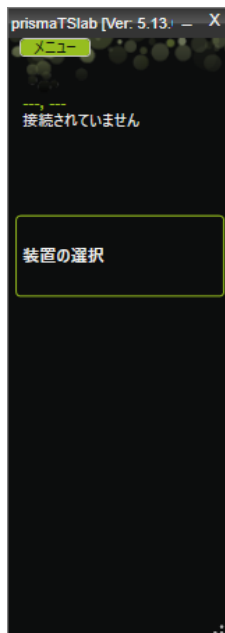
要件：

- 治療装置がLAN経由でPCに接続されている (prismaTS使用説明書を参照)。(prisma HUBモジュールを使用している場合、prisma HUBconfig使用説明書を参照してください)。
  - SOMNO devicesのみ：治療装置がUSBコンバーターケーブル経由でPCに接続されている (prismaTS使用説明書を参照)。
- プログラムアイコン  をダブルクリックします。

1:1接続がセットアップされている場合(「患者居室への固定割当ての設定(オプション)」を参照)、メインウィンドウが開きます。



セットアップされている1:1接続がない場合、スタートウィンドウが開き、ここで治療装置を選択することができます。



設定は、治療装置上で、またはソフトウェア内で実施することができます。治療装置上でパラメータを設定し始めると、prismaTSlabユーザーインターフェースは使用不能になります。

2. 別の装置をリモートで同時に制御するには、別の prismaTSlab アプリケーションを開く必要があります ([「prismaTSlabの起動」を参照](#))。

### 3.1.1 オンラインヘルプ / ユーザーマニュアルを開く

1. F1を押してオンラインヘルプを開きます。

または

**メニュー** > **ヘルプ** をクリックします。

PDF形式のユーザーマニュアルは、インストール媒体の **Manuals** フォルダと、ハードディスクのインストールパスの **Manuals** フォルダに用意されています。内容はオンラインヘルプと同じです。

### 3.1.2 言語の選択

ユーザーインターフェースはさまざまな言語で利用できます。

1. **メニュー** > **言語の変更**をクリックします。
2. 使用したい言語を選択します。

### 3.1.3 圧力単位の選択

prismaTSlabに表示される圧力値には、さまざまな圧力単位を使用することができます。

1. **メニュー** > **オプション** > **設定** > **画面**をクリックします。
2. 使用したい圧力単位を選択します。

選択した圧力単位は、prismaTSにも自動的に適用されます。

## 3.2 治療装置を手動で選択

1:1接続をセットアップ ([「患者居室への固定割当ての設定 \(オプション\)」を参照](#)) していない場合は、必要な治療装置を手動で選択します。

1. 治療装置を選択するには、**装置の選択**をクリックします。

または

**メニュー** > **装置の選択**をクリックします。



接続されているLöwenstein Medical治療装置すべてが自動的に、**装置の選択**ウィンドウに表示されます。

- 必要な治療装置についての詳しい情報や、該当する場合はその装置に割り当てられた患者についての情報は、リスト内の対応する装置をクリックします。

ファームウェアのシリアル番号とバージョンは情報バーに示されています。

選択された治療装置に、すでに患者が割り当てられている場合は、その患者のデータが表示されます。

- その装置の設定を承認するには、**選択**をクリックします。

または

リストでその装置をダブルクリックします。

## 3.3 患者の選択

### 3.3.1 治療装置を患者に割り当てる

選択された装置をある患者に設定するには、それをその患者に割り当てることができます。

要件：

治療装置が選択されているか（「[治療装置を手動で選択](#)」を参照）、または1:1接続で自動的に接続されていること（「[患者居室への固定割当ての設定（オプション）](#)」を参照）。

1. **装置の選択**ウィンドウで**患者リスト**をクリックします。

または

**メニュー** > **患者リスト**をクリックします（これは、1:1接続を使用している場合は唯一の可能な方法です）。



2. 選択された装置に既存の患者を割り当てるには、その名前をダブルクリックします。

または

対応する名前をクリックします。**選択**をクリックします。

3. その患者がまだシステムに保存されていない場合は、その患者を作成します（「[新規患者の作成](#)」を参照）。



### 3.3.2 新規患者の作成

要件：

治療装置が選択されているか（「治療装置を手動で選択」を参照）、または1:1接続で自動的に接続されていること（「患者居室への固定割当ての設定（オプション）」を参照）。

1. **装置の選択**ウィンドウで**患者リスト**をクリックします。

または

**メニュー** > **患者リスト**をクリックします（これは、1:1接続を使用している場合は唯一の可能な方法です）。

2. **新規患者**をクリックします。

3. 患者データを入力します。



\*印のあるフィールド（**名**、**姓**、**生年月日**）は必須フィールドであり、記入が必要です。

患者の年齢は、生年月日に基づき自動的に計算されます。

prismaTS情報バーや簡略レポートおよび調整レポートで使用するために、患者から提供されている電話番号の1つを、第一優先の電話番号として保存することができます。

4. 電話番号を入力した後、電話番号フィールドで右クリックします。

5. **標準として指定**を選択してください。

緑色のチェックマークは、優先される連絡先番号を示します。

この電話番号がprismaTS情報バーと簡略レポートおよび調整レポートに表示されます。

6. **保存**をクリックします。

### 3.3.3 患者データの編集

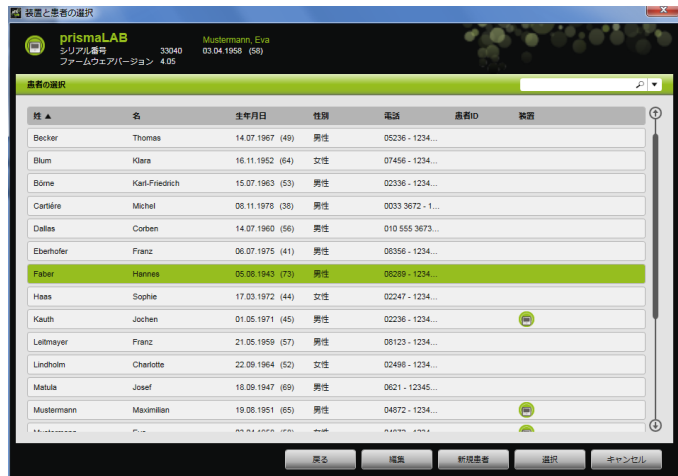
要件：

治療装置が選択されているか (「治療装置を手動で選択」を参照)、または1:1接続で自動的に接続されていること (「患者居室への固定割当ての設定 (オプション)」を参照)。

1. **装置の選択**ウィンドウで**患者リスト**をクリックします。

または

**メニュー > 患者リスト**をクリックします。



2. 編集したい患者を選択するには、対応する名前をクリックします。

3. 患者のデータを編集するには、**編集**をクリックします。

4. 患者データを編集します。
5. **保存**をクリックします。

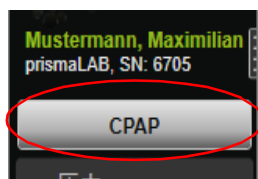
## 3.4 治療設定の構成



- 個々の換気モードについての治療パラメータを設定できるかについての情報は、治療装置の使用説明書を参照してください。
- 重要な治療設定の多くは、ユーザーインターフェースの**メインウィンドウ**で設定することができます。治療設定はすべて、**治療設定**ウィンドウで設定することができます。
- スタンバイモードで、または治療中に、治療設定を行って、治療装置に転送することもできます。治療中の場合、治療圧力は、数回の呼吸にわたって段階的に新しい値に適合されます。

### 3.4.1 換気モードの選択

接続されている治療装置により提供される換気モードのうち1つだけが選択できます。




1. 必要な換気モードを、換気モードリストから選択します。

換気モードを変更した場合、プリセットの治療パラメータが自動的に変更されます。

**換気モード**リストの左側と、**パラメータ**フィールドの左に表示される感嘆符記号 **!** は、その**換気モード**と**パラメータ**が変更されたことを示します。

2. 変更された換気モードを治療装置に適用するには、**適用**をクリックします。

または

設定パラメータを破棄して、治療装置を現在の装置設定にリセットするには、**更新/リセット**ボタン  をクリックします。

### 3.4.2 換気プログラムを設定する (タイプ WM110TD とタイプ WM120TD のみ)

最大3つの換気プログラムを事前設定できます。例えば、日中と夜間で異なる換気設定が患者に必要な場合、メインウィンドウでプログラムを迅速に変更できます。

1. メニューの**治療設定** > **プログラム**で必要なプログラムを有効にします。
2. **メインウィンドウ**で必要なプログラムを選択します。
3. 必要に応じて設定を行います (モード、パラメータ、アラーム)。

### 3.4.3 詳細設定換気モードの表示・非表示 (prismaLABのみ)

prismaLAB治療装置では、換気モードリスト内で利用できる詳細設定換気モード ((30) の追加により識別) のすべてを、表示または非表示にすることができます。

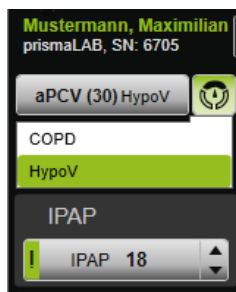
1. **メニュー > オプション > prismaLABの目標量を伴う**  
**詳細設定換気モードを表示**をクリックすると、詳細設定換気モードの表示・非表示が切り替えられます。
2. チェックボックスのチェックマークを消すと、詳細設定換気モードが非表示になります。また、チェックマークを付けると、詳細設定換気モードが表示されます。
3. 変更を有効にするには、prismaTSlabを再起動してください。


### 3.4.4 SCOPE (治療目標) の選択 (WM100TD 装置のみ)

換気モードAcSV、S/T、autoS/T、S/T (30)、autoS/T (30)、aPCV (30) では、プリセット治療目標を選択することができます。

治療装置が、特定の圧力と治療パラメータを適切な開始値に自動的に設定します。これにより、多くの患者について個々のパラメータを最適化するための時間のかかる複雑な作業が不要になります。また、特殊な要件が必要な場合はパラメータを直接調節することもできます。


すべてのモードについて、SCOPEを定義および作成することもできます (「SCOPE (治療目標) を設定する」を参照)。



1. **SCOPE**  リストから、希望する治療目標を選択します。  
このSCOPEは、換気モードリストに表示されます。

- 変更された**SCOPE**を治療装置に適用するには、**適用**をクリックします。

または

設定パラメータを破棄して、治療装置を現在の装置設定にリセットするには、**更新/リセット**ボタン  をクリックします。

### 3.4.5 治療パラメータを設定する

選択されている換気モードの最も重要な治療パラメータが、インタフェース上に表示されています。




- その値の隣の矢印キーをクリックして、必要な値を選択します。

または

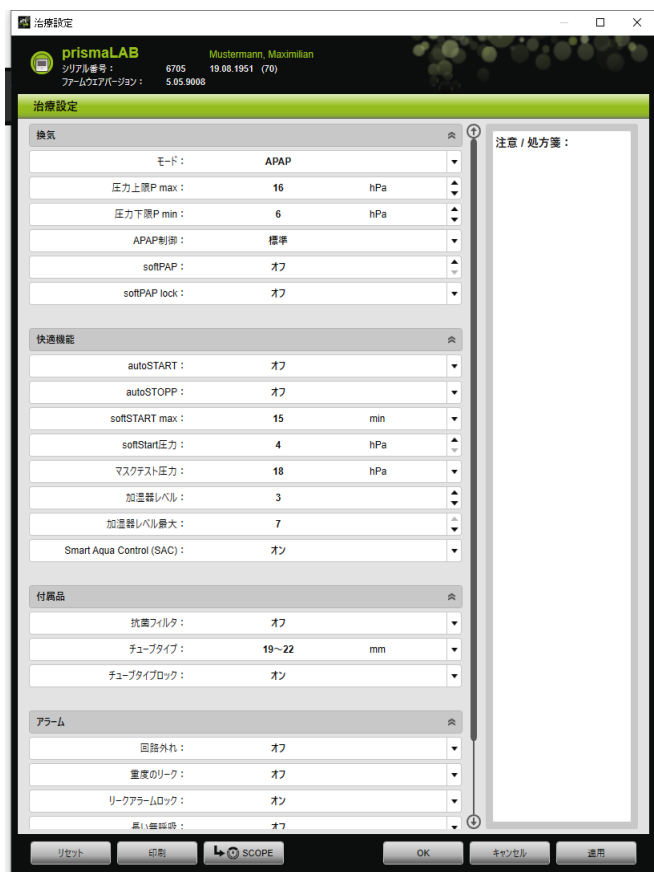
フィールドをクリックし、キーボードを使って値を入力することにより、値を変更します。変更を行ったあと、入力フィールドをいったん出する必要があります。これにより**適用**ボタンがアクティブになり、その値を治療装置に適用することができます。

- 設定パラメータを治療装置に適用するには、**適用**をクリックします。

### または

設定パラメーターを装置の現在値にリセットするには、**更新/リセット**  をクリックします。

- 選択されているモードに追加の治療パラメータを設定するには、**メニュー** > **治療設定** をクリックします。



- 矢印キーで必要な値を選択します。

### または

必要なフィールドをクリックします。

キーボードを使用して値を入力します。

- 設定パラメータを治療装置に適用するには、**適用**をクリックします。

または

設定パラメータを治療装置に適用してウィンドウを閉じるには、**OK**をクリックします。

- 設定パラメータを破棄するには、**キャンセル**をクリックします。

または

**リセット**をクリックします。

### 3.4.6 SCOPE (治療目標) を設定する

すべてのモードについて、自分で治療目標を定義および作成することができます (WM100TD装置で、ファームウェアバージョン4.05の段階のみ)。これにより、多くの患者について個々のパラメータを最適化するための時間のかかる複雑な作業が不要になります。また、特殊な要件が必要な場合はパラメータを直接調節することもできます。

- メニュー** > **治療設定**をクリックします。
- SCOPEに必要な設定を行います。



- SCOPE**をクリックして、画面上の換気パラメータをSCOPEとして保存します。



- SCOPEに、分かりやすい名前をつけます。  
このSCOPEが保存されます。
- SCOPEを治療装置に適用するには、**適用**をクリックします。
- ユーザー定義SCOPEを編集するには、**治療設定**ウィンドウの**SCOPE**フィールド内で選択します。  
設定を編集します。
- ユーザー定義SCOPEを削除するには、**治療設定**ウィンドウの**SCOPE**フィールド内で選択します。  
**SCOPEを削除**をクリックします。

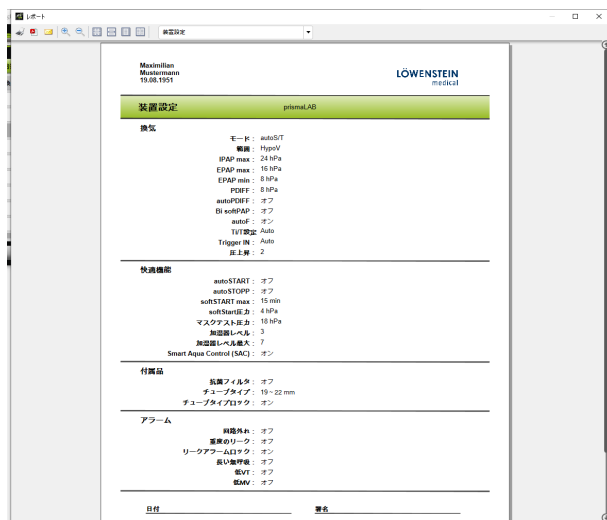
### 3.4.7 レポートを印刷する

治療設定のレポートを読み出して、すべてをまとめて見やすい形に保存し、印刷し、メールで送信することができます。



入力されている注意や処方箋の記述はprismaTS/prismaTSlabに保存されず、レポートでは読み出し専用になります。


- メニュー** > **治療設定**をクリックします。
- 印刷**をクリックします。



3. 印刷プレビューからレポートを印刷するには、**印刷**記号をクリックします。
4. 印刷プレビューからレポートをPDFとして保存するには、**PDF形式で保存**記号をクリックします。
5. PDF形式のレポートをメールで送信するには、**メールとして送信**記号をクリックします。

### 3.4.8 治療プロトコルの印刷





治療プロトコルには、夜間調節のすべてのイベントが表形式で含まれています。特定のタイプのイベントのみをリストしたい場合は、タイプ別にフィルタすることができます。

1. **治療プロトコル**  をクリックします。  
または
2. **メニュー** > **現在の夜間治療のプロトコル**を選択します。
3. 選択したタイプのイベントだけを治療プロトコルに表示したい場合は、**フィルタ**をクリックします。
4. 必要なイベントタイプを選択します。
5. **治療プロトコル**をクリックします。
6. 治療プロトコルを印刷するには、**印刷**をクリックします。

## 3.5 治療の開始と終了

要件 治療装置が選択されているか(「治療装置を手動で選択」を参照)、または1:1接続で自動的に接続されていること(「患者居室への固定割当ての設定(オプション)」を参照)。



1. 治療を開始するには、ユーザーインターフェースの **オン/オフ** ボタン  をクリックします。  
治療の実行中はボタンが緑色になります .
2. 治療を終了するには、ユーザーインターフェースの **オン/オフ** ボタンをクリックします 。  
**スタンバイモード**では、ボタンは灰色です .



治療が始まると、**治療分析** ボタンと **治療プロトコル** ボタンが、**softSTART** ボタンと **呼吸気加湿器** ボタンに変わります。治療が終わると、ボタンが元に戻ります。



## 3.6 呼吸気加湿器のスイッチを切り替える


### WM100TD


加温加湿器は、治療開始時に自動的にオンになります  
(「治療の開始と終了」を参照)。

また、加湿器を予熱しておいて、治療開始時までに呼吸気加湿器中の水があらかじめ必要な温度に達しているようにすることもできます。呼吸気加湿器は45分間予熱した後自動的にオフになることに注意してください。

要件：


- ・ 治療装置がスタンバイモードになっていること .
- ・ 呼吸気加湿器に水が入っていること。
- ・ 呼吸気加湿器が治療装置に接続されていること  
(治療装置の取扱説明書を参照してください)。
- ・ 加湿器レベルが表示されます .


1. 呼吸気加湿器のスイッチをオンにするには、**加湿器** ボタンをクリックします .

呼吸気加湿器のスイッチがオンになっていること。**加湿器** ボタンは緑色で表示されます .


2. 設定された加湿器レベルを変更するには、**メニュー** > **治療設定**(「治療パラメータを設定する」を参照)をクリックします。

**治療設定** ウィンドウの**快適機能** リストで、加湿器レベルを設定することができます。

3. 呼吸気加湿器のスイッチをオフにするには、**加湿器** をクリックします .

呼吸気加湿器のスイッチがオフになります。**加湿器** ボタンは灰色で表示されます .



呼吸気加湿器に水が残っていない場合は、呼吸気加湿器は自動的にオフになります。加湿器記号はオレンジ色になります .

## タイプ WM110TD とタイプ WM120TD

1. **メニュー** > **治療設定**をクリックします。
2. **快適機能**セクション内で、**加湿器**パラメータの**オン**または**オフ**を選択します。
3. **加湿器レベル**を選択します。

## WM090TD

1. **メニュー** > **治療設定**をクリックします。
2. 呼吸気加湿器のスイッチをオンにするには、**レベル**パラメータの必要な加湿器レベルを選択します。
3. 加湿器レベルのスイッチをオフにするには、レベル0を選択します。

## 3.7 装置内の治療データ削除

治療装置内でprismaTSlabと共に治療装置内に記録された治療データは、削除することができます。



削除する前に、治療装置からソフトウェアへとデータをインポートしますprismaTS **PTS** (prismaTSのオンラインヘルプ/ユーザーマニュアルを参照)。  
さもないと、データは恒久的に削除されます。

1. **メニュー** > **装置内の治療データ削除**をクリックします。
2. **はい**をクリックして、削除を確認します。

## 3.8 PSG テストを実施する

PSGテストを実行して、prismaPSGモジュールが適切に接続されているかテストすることができます。

要件：

治療装置がprisma HUBモジュールに接続されている。

1. **メニュー** > **PSGテスト信号の出力...**をクリックします。



2. **テスト信号の出力を開始**をクリックします。

PSGテストが実施されます。

## 3.9 レポートの作成

### 3.9.1 レポートのヘッダーのカスタマイズ

レポートのヘッダーをカスタマイズすることができます。この設定はすべてのレポートに適用されます。

1. **メニュー** > **オプション** > **設定**をクリックします。







2. **オペレーター情報**をクリックします。
3. 医療機関および連絡先情報フィールドに、必要な情報を入力します。  
このデータはレポートのヘッダーに表示されます。
4. ロゴをロードするには、**参照**をクリックして、ロードしたいロゴを選択します。  
このロゴはレポートヘッダーに表示されます。寸法は自動的に調整されます。
5. 入力内容を保存するには、**適用**をクリックします。
6. 入力内容を保存して**prismaTS 設定**ウィンドウを閉じるには、**OK**をクリックします。
7. 入力内容を保存しない場合は、**キャンセル**をクリックします。

## 4 付録

### 4.1 テクニカルデータ

仕様	prismaTS
93/42/EEC ( 欧州医療機器指令 ) に基づく製品等級	Ila
IEC 62304によるソフトウェアリスク分類	B

### 4.2 ラベルと記号

ラベル	説明
	ユーザーマニュアルに従ってください。
	製品識別番号 ( 医療機器の統一製品記号 )
	製品が医療機器であることの表示
	CE マーク ( 本製品が現行の欧州指令 / 規則に適合していることの証明 )

### 4.3 適合宣言書

メーカーである Löwenstein Medical Technology GmbH + Co. KG (Kronsaalsweg 40, 22525 Hamburg, ドイツ) は、本製品が医療機器に関する 93/42 EE 指令の関連規定に適合していることを宣言いたします。適合宣言書の全文は、メーカーのホームページでご覧いただけます。

EU 圏内：ユーザー・患者は、本製品と関連して発生したすべての重大な事故について、メーカーおよび管轄官庁に通知する義務を負います。









CE 0197



**Löwenstein Medical  
Technology GmbH + Co. KG**  
Kronsaalsweg 40  
22525 Hamburg, Germany  
T: +49 40 54702-0  
F: +49 40 54702-461  
[www.loewensteinmedical.com](http://www.loewensteinmedical.com)

**LÖWENSTEIN**  
medical